

2/21 木

# 高すぎる国保引き下げを 笠井委員長、強引な差し押さえ告発



質問する笠井亮議員  
=20日、衆院予算委

## 衆院予算委

→論戦ハイライト③面  
笠井氏は、年収400万

日本共産党的笠井亮政策委員長は20日の衆院予算委員会で、高額の国民健康保険（国保）料・税が全国の住民を苦しめていると指摘し、「抜本的な保険料引き下げを実現する」として住民の命と暮らしを守り、最大の収納対策にもなる」と主張しました。

市39万7400円、札幌市41万3500円に対し、協会けんぽでは20万円前後だと紹介。高額の国保料に、全国の住民が悲鳴をあげていると指摘し、「国保を維持するには相当額の国庫負担が必要」との国保制度本来の理念にふれ認識をただしました。

笠井氏は、昨年7月に全国知事会、同11月に全国市長会もさるなる公費投入を提言したこととあれ、「要請にこたえて協会けんぽ並みに引き下げるべきだ」と強調。根本丘厚労相は「今後も意見を伺う」と述べました。

笠井氏は、「国保が要因であることは事実」と認め、「適切に運用されるよう各市町村への周知を徹底していく」と述べました。

安倍晋三首相は、公費負担で18年度から年3400億円の財政支援をしてくる

安倍晋三首相は、公費負担で18年度から年3400億円の財政支援をしてくる

安倍晋三首相は、公費負担で18年度から年3400億円の財政支援をしてくる

と強調。笠井氏は、「なお保険料が高すぎるのが現状だ」と反論し、かつては給付費の6割あつた国庫負担を5割に引き下げたこと

と指摘しました。

笠井氏は、国保の運用は

「最悪の場合、命につながる。国保の滞納者に追い打ちをかける『北風』か、生

活再建で払えるようにある『太陽』か、どちらがいい

のか」と迫りました。安倍

首相は質問に直接答えなか

ったものの、「命にかかるいじは事実」と認め、「適切に運用されるよう各市町村への周知を徹底していく」と述べました。